

わかば園だより

第6号 平成29年2月14日発行

社会福祉法人緑樹福祉社会わかば園

Tel : 0791-45-2240 Fax : 0791-56-9000

URL <http://ryokujufukushi.web.fc2.com/index.html>

e-mail : wakaba@ivy.ocn.ne.jp

だいこん祭り盛大に！

晴天に恵まれた12月4日（日）に、わかば園を会場に「第12回だいこん祭り」が盛大に開催されました。今年は夏の天候不順で野菜の高値が続いたためか？1本50円の大根は魅力で例年になく多くのお客様の列ができました。大根を抱えたお客様が、園内の出店で新米や焼き芋など買い物を楽しまれました。

わかば園でも「お好み焼き」「トン汁」の出店をしました。盛況でいずれも完売しました。生活介護で作業活動として製作した「ポチ袋」も販売しました。



障がい者週間行事に 協賛販売参加

障がい者週間（12月3日～9日）のイベントとして、12月3日（土）1：30～4：00、赤穂市総合福祉社会館で「ともに考える市民のつどい」が開催されました。福祉作文等の表彰式の後、森山和泉（イラストレーター）さんの「笑えば未来は好転する」と題した講演会がありました。森山さんは発達障がいの娘さんを持つ日々の生活を6コマ漫画にして新聞に発表されている方です。

わかば園も行事への協賛として農園で栽培した野菜等を販売しました。



クリスマス会 盛り上がる

12月22日（木）に老人福祉センター・万寿園でわかば園のクリスマス会が開催されました。

ゲームで楽しい時間を過ごしました。サンタクロースからのプレゼントやケーキで、利用者さんの顔も笑みであふれました。

「とんど祭り」に、無病息災を祈る！！

赤穂精華園のご招待で1月19日（木）、精華園グランドで行われた「とんど祭り」に参加しました。1：30の着火式には、年男のわかば園利用者も松明を持って参加しました。無病息災を願って、とんどの火で焼いたお餅をいただきました。



赤穂義士祭に販売活動！

第113回赤穂義士祭が12月14日（水）に開催されました。今年は大石内蔵助役に歌舞伎役者・中村梅雀を迎えての義士行列が行われました。

わかば園の就労継続Bは、農園で収穫した野菜や生活介護が製作した「お年玉袋」などの販売活動を行いました。天候にも恵まれて繰り出した多くの観光客に呼び込みをし、販売活動を進めました。

「赤穂みかん、甘いですよ！おいしいですよ！」「だいこんはいかがですか？」と観光客の足を止めようと必死の呼び込みで売り上げ増を図りました。テントの隣では、「南京玉すだれ」などの大道芸の出し物があり、しばし見とれる楽しみもありました。



就労継続支援B型の活動紹介

「サポート愛」の請負作業として、草刈りや家具等の廃棄処分作業などもしています。年末には高齢の方から依頼のあった墓の草抜きや墓石掃除を請け負いました。蔵の2階から古くなったタンスやオルガンなどを運び下し、軽トラックに積み込み市の美化センターに運び廃棄します。階段でタンスの角を壁に当てないように下すのには気を使いました。墓石を布で拭って新年を迎える準備ができました。



生活介護の活動紹介

生活介護では、社会体験を広げる活動として、毎週金曜日の午前中に「赤穂市立赤穂東地区デイサービスセンター・しおさいセンター」で、風呂上がりの利用者さんにお茶を出す取り組みを始めました。

利用者さんが交代で訪問して、支援員のアドバイスを受けながら湯上りの皆さんに「お茶をどうぞ。」とすすめました。「ありがとう。」の言葉に笑みがこぼれました。



わかば園 イラスト展 開催！



2月1日（水）～28日（火）に赤穂市民病院1Fアメニティホールでイラスト展を開催しています。わかば園の紹介と、利用者のイラストを展示します。イラスト29点から「お気に入りベスト3を投票する・総選挙」を実施中です。

編集後記

地域社会で色々な体験を通して、利用者の皆さんに笑顔があふれることは、とてもうれしいことです。平成29年も活動に工夫をこらし、笑顔いっぱいの年になりますようにします。